



Q この度の不祥事は、肥大化組織の形式的管理と責任分散の結果では

な ぐも よし ゆき
南 雲 好 幸 (文責)



A 組織体制の原因というより、公務員倫理観の欠如が一番

質問

私は3月議会で、部長制の妥当性を問い、責任の所在が明確な「課長制」を提案した。それに対し「責任の所在を明確にする今の体制は間違っていない」と答弁。その議会直後に事件が判明。今回の公金横領という不祥事は、肥大化した組織による形式的な管理と責任の分散が招いた結果ではないか。また、全員協議会で「部長制の影響」を問うた際、「体制よりも現金の置き方やチェック体制がなかったことが大きい」と部長答弁があった。一方で、町長はコラムで「管理監督体制に不備があった」と述べている。職員不足が叫ばれる中、管理職ポストの維持で現場が疲弊し、チェックが疎かになる悪循環を断ち切るべき。抜本的な機構改革を直ちに検討すべき。町長の見解を伺う。

答弁

管理監督体制に重大な問題があったと反省している。二度と不祥事を起こさないため、第三者機関を入れ、ガバナンス体制の再構築を行う。

Q

夏場観光クマ対策、ICT活用で攻めの安心へ

A

先進事例を参考にし「研究」していく

質問

Aーカメラを設置し、情報をリアルタイムでスマホへ多言語配信する仕組みを構築すべき。「研究・検討」では遅すぎる。観光客はわざわざ町のホームページを見ない。プッシュ通知型の情報提供に踏み出すべき。

答弁

プッシュ通知は登録制の「サルクマ情報メール」を行っており、現状ではそれ以上の対応は考えていない。提案もできるところを検討。

質問

最前線を担う猟友会が高齢化に対し、若手が参入しやすいよう、免許取得や銃所持費用を全額助成する制度を創設できないか。また、「地域おこし協力隊」を活用し、職業としてのハンターを育成できないか。

答弁

狩猟免許取得には約11万円かかるとのこと。町の補助金は7万5千円である。

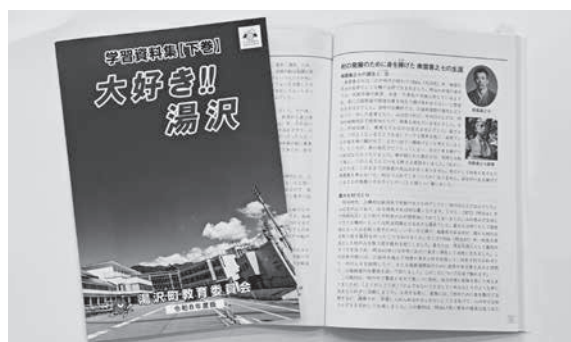
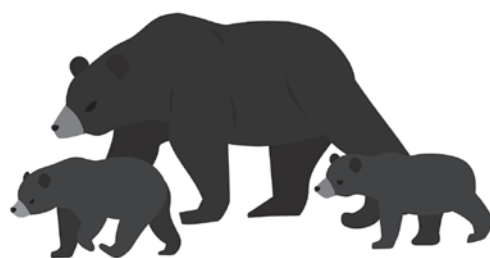
り、これは近隣自治体と比較しても約2万円ほど手厚い状況。

Q

新教育長に伺う。教育行政の方向性と、教育がいかに町の持続可能性を担保していくのか

A

確かな学力と湯沢ならではの学び、およびキャリア教育や地域探求活動が、郷土を担う人材育成に繋がる



学習資料集「大好き!! 湯沢」